



- 駐車場
- ↓ 0:15
- 大峰(356m)
- ↓ 0:12
- 石城島神社
- ↓ 0:14
- 高日ヶ峰(362m)
- 高日神社
- ↓ 0:11
- 東水門
- ↓ 0:15
- 北門
- ↓ 0:08
- 北水門
- ↓ 0:13
- 西水門
- ↓ 0:17
- 石城神社
- ↓ 0:07
- 駐車場

石城山(362m) 神籠石

2018.06.07(木)曇り

駐車場～大峰(356m)～石城島神社～高日ヶ峰(362m)～東水門～北門～北水門～西水門～石城神社～駐車場



7:11 第二奇兵隊関連史跡の案内板。



石城山神籠石散策案内板。



7:17 駐車場からキャンプ場へと向かう。



7:18 第二奇兵隊練兵場跡の案内板を読む。



左奥に岩に埋め込まれた菩薩像を見る。



7:21 山側に二連の四阿屋を見る。



7:22 四阿屋奥の道を登り上がる。



7:27 盤山神社(ほんさんじんじゃ)
氣玉彦命



7:29 宇和奈利社(うわなりしゃ)
木花咲耶姫命



7:32 大峰(356m)



7:39 二十丁目石と地蔵尊から右へ向かう。



7:40 さざれ石を見る。



7:41 日本神社(やまとじんじゃ)
天照大御神・歴代皇孫尊・天地八百萬神



7:44 ツルアジサイ



7:48 若宮社(わかみやしゃ)
天孫瓊々杵尊



7:49 船石へと階段を下って行く。



7:52 鳥居をくぐる。



7:53 葦原神社(あしはらじんじゃ)
神集岳坐諸大神・萬靈神岳坐諸大神・紫府宮神界坐諸大神・天地八百萬神



7:59 ヒイロタケ



8:00 石城島神社(しきしまじんじや)
帰幽同志の御霊・同志の祖霊・同志所縁の御霊達



8:03 斎田のような場所を抜ける。



8:04 竹に囲まれた舟石を見る。



8:07 右側の階段を上り返して行く。



8:10 遊歩道に出会い右折する。



物部神社(ものべじんじゃ)
物部守屋大連命



8:11 五十猛神社(いたけるじんじゃ)
五十猛大神



8:13 分岐に出合い左の斜面を上り詰める。



8:16 高日ヶ峰(362m)の山頂には高日神社(たかひじんじゃ)天之御中主神・日神・月神・星神・高日峰之神 東の展望が得られる。



裏にある社。



8:20 南東に尾根筋を緩やかに下って行く。



8:23 遊歩道に合流し、左折する。



傍に五輪塔を見る。



石仏もある。



8:32 擬木階段を下って行く。



8:34 案内板を見る。



8:36 石垣の説明板。



修復された石垣。



8:42 東水門の石垣。



東水門と内部。



8:46 列石1



8:48 版築土塁の説明板。



8:56 ツルアリドオン



9:00 北門。



沓石。列石線から内に3m程移動している。奇兵隊が動かしたのか？



山側左から見た北門。



山側右から見た北門。



谷側左から見た北門。



谷側右から見た北門。



説明板。



9:08 列石。九州の様に天端の加工が見られない。



9:10 列石2。



9:11 龍石。



9:14 擬木階段を下ると北水門である。



9:15 北水門に到着。



北水門(1)



北水門(2)



北水門の内部は、閉塞などなく良好な状態である。



9:24 ヤブ化した擬木階段を上って行く。



9:28 山腹を巻いていく。



9:33 西水門が見えた。此处は3段の石垣が積まれている。



左側から見た水門で縦横の目地はズレており、基山の南水門と同じ積み方である。



右側から見た西水門。水門は見当たらなかった。



9:38 ヘビイチゴ 実



9:39 擬木階段を緩く上がって行く。



9:41 平坦な広場に出会う。正面が月ヶ峰で左斜面に赤テープを見る。



9:46 列石4。以後列石を見ることはなかった。



9:47 板橋を渡る。



9:48 案内板。

西回 ← 一周ルート 約90分位
 神籠石見学道
 (99少) (アツク) (タウ) (あり)
 石城山県立自然公園



9:49 平成27年3月天皇皇后両陛下お手蒔きのすぎを見る。



第二奇兵隊本陣跡の案内板を読む。



9:50 本来は神護寺跡である。



広場の奥に千手観音菩薩像が立つ。



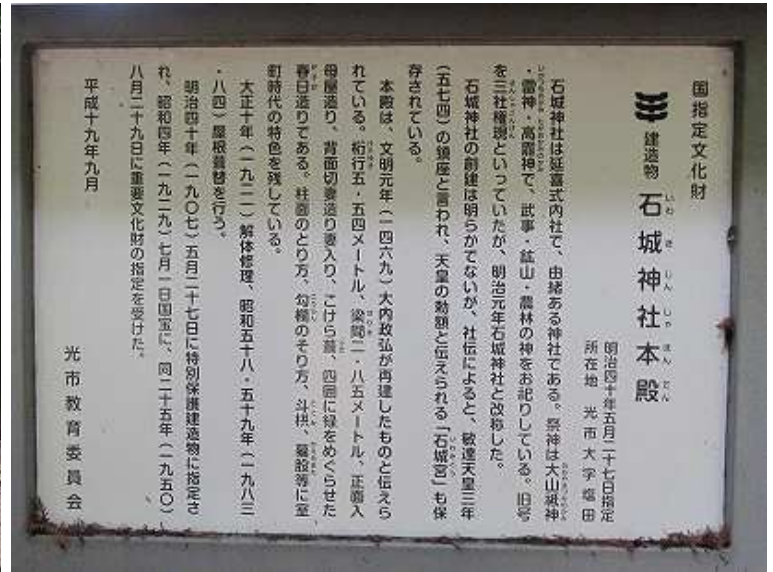
9:51 右の山側に岸信介が詠んだ「第二奇兵隊志士を懐う」の七言絶句を見る。



13:11 直ぐ左にトタン葺きの栗島大明神を見る。



9:52 重要文化財の石城神社(いわきじんじゃ)に参拝する。



説明板によると創建は574年とされており、神籠石築造以前から存在していたことになる。



9:57 平坦な参道を南東へ向かう。



10:00 神護寺仁王門(隨身門)をくぐる。



説明板。



10:03 駐車場に帰り着いた。